

住民参加型まちづくり活動の意義と効果 —米子市商店街における「商店街探検隊」の活動を通して—

浅井 秀子

Hideko Asai : Means and Effect of Participatory Community Making

—Through the Action Called “Shotengai Tankentai” in Yonago—

1. 目 的

本報告は、平成11年5月より「商店街探検隊」と称し、小・中学生とその保護者を中心に、米子商店街と旧加茂川周辺を拠点として、まちづくりに関するワークショップを重ねた成果について報告する。

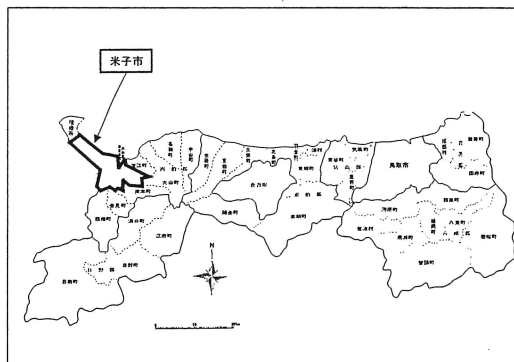
そしてこの活動を通して、子供達にとって、まちづくりに関わる事の意義と効果を探る事を目的をしている。

2. 米子市商店街の変遷と活動の背景

2.1 商都としての歴史的背景

米子市は、鳥取県の最西端に位置し、鳥根県東部松江市、安来市などと一体的な都市圏を形成し、山陰地方における海陸交通の拠点としての地理的条件を利用した商業都市である。

江戸中期から明治、大正に入ると汽船の運航が始まり、米子港を中心として海運業が盛んになった。北前船等も立ち寄り、また旧加茂川は運送路となって舳が往来し、川沿いに建つ蔵には沢山の荷物が上げ降ろしされた。そして明治45年山陰線が全通すると、山陰における陸、海の交通拠点として「山陰の



米子市周辺地域の概要図

大阪」と言われるまでの発達ぶりを示した。市制の施行は昭和2年、戸数6843戸、人口31144人でのスタートだったが、平成10年には人口13.7万人となった。

2.2 米子市商店街の概要

米子市の本格的なまちづくりは、近世、吉川広家が米子城築城を計画し、全国、近隣から優れた商人や職人を呼び寄せ、城下十八町と言われる町並みを完成させたのがその始まりと言われている。

そこでは各町別に同業者が集まり専売制を設け、近隣の城下町から移された日野町（日野郡出身者が居住）、法勝寺町（唐津物、古物商）、四日市町（鍛

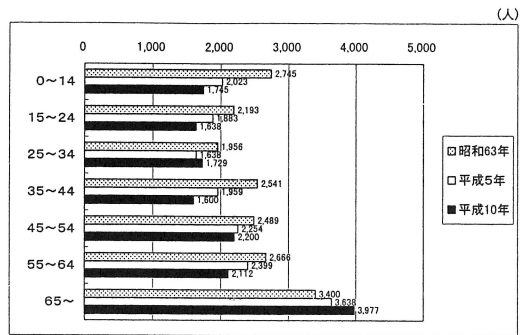
治屋)、尾高町等、また職人や商人達が集まり住んだ紺屋町(野道具、傘)、塩町、茶町(大工、左官)、麴町(牢番)、博労町(牛馬市、ばくろう)等、当時の町の構造は400年あまり経った現在に生き続けている。

米子市中心市街地は、JR米子駅を交通拠点として、駅前より徒歩圏にある商店街を含め、駅周辺の回遊性の努め、一体的な整備が可能な範囲を設定している。その区域面積は約300haであり、そのエリア内に8商店街振興組合と5商店会の13商店街が立地している。

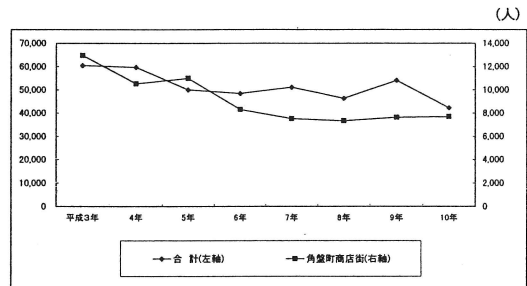
「米子市中心市街地活性化基本計画」資料編(平成11年3月 米子市発行)の報告によれば、中心市街地の人口推移を年代別にみると、65歳以上の老年人口を除く全ての年代で10%以上減少している。平成10年の老年人口(65歳以上)の割合は、ほぼ4人に1人が老年人口となっている。さらに中心市街地での事業所、従業者数の減少は著しく、特に事業所数の減少は、平成3年から8年の5年間で米子市全体の減少数の約9割を占める結果となっている。

また近年のモータリゼーションの発展により生活者の行動範囲が広がり、自動車はより生活に密着したものとなってきた。それに伴い、JR米子駅の日あたりの乗降数は年々減少し、その影響を顕著に表しているのが、各商店街別の通行量である。調査の結果をみると、大半は減少傾向になっているが、特に著しい地域として、法勝寺商店街、元町通り商店街が挙げられる。鳥取県建築士会女性委員会西部支部が、中心市街地の商店主に個店ヒヤリングを行った結果によれば、半数以上の店主が、店舗以外の場所(米子市周辺を含む郊外地)に居住地を構えていることがわかった。つまりこの事からみると、中心市街地衰退の要因の一つに、市民の居住地の郊外化が背景にあると推測できる。

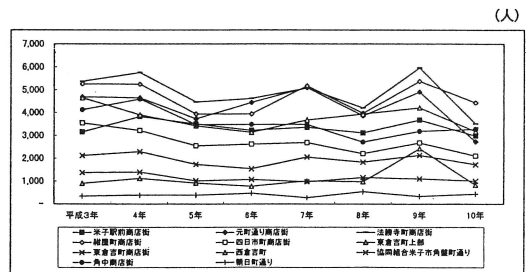
米子市中心市街地活性化基本計画 概要版(平成11年3月 米子市発行)における基本方針によれば、「21世紀に向けた商都米子の顔づくり」～商都米子の再興～「山陰の商業拠点として繁栄した米子を今



中心市街地の年代別人口

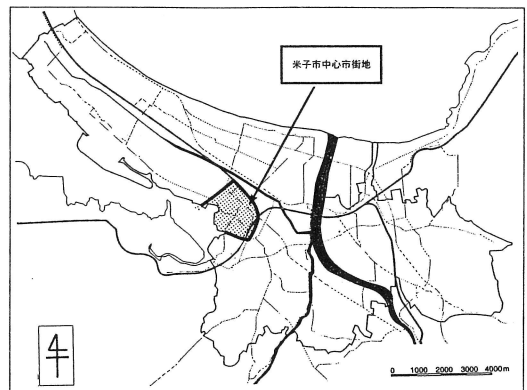


通行量の推移 (合計・角盤町商店街)



資料：各年通行量・大型店入店客数調査(米子市商店街連合会・米子商工会議所・米子市)

通行量の推移 (各商店街)

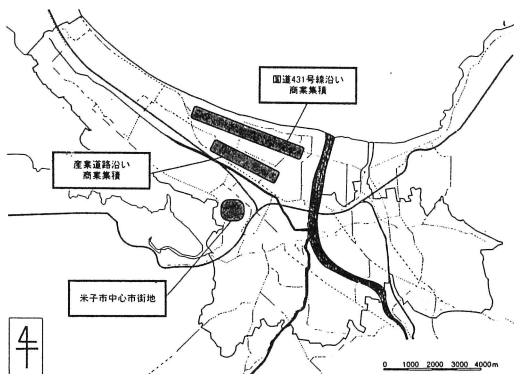


米子市中心市街地区分図

また、新たに都市機能の更新、充実を図り、中心市街地全体を新しいものとして再興する」と記載されている。その中には各商店街独自のソフト、ハード事業の他に商店街全体の共通課題でもある空き店舗対策や駐車場整備事業についても盛り込まれている

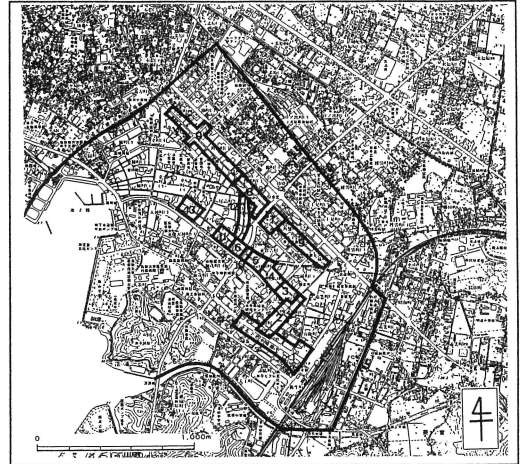
今後近い将来主要整備拠点として挙げられている地域に、紺屋町周辺市街地再開発事業、旧米子大丸跡地、旧西部生協跡地、元町よりみち通りがある。旧米子大丸跡地、旧西部生協跡地の両跡地は、すでに暫定的に青空駐車場となっている。商店街活性化を考える上で、駐車場問題は必ずと言っていい程挙がってくる問題の一つではあるが、このケースについては、設置された事によるメリットはほとんどみられない。つまり中心市街地活性化の要因の一つに挙げられる駐車場問題については、不満は感じているが、必ずしもそれだけではないという事がわかってきた。

「消費者買物動向調査」(平成9年度)より、米子市居住者の買物動向からみると、買回品の大型店利用率は高く、中心市街地の一般商店の利用率は約1割と非常に低い。同様に、食料品や日用雑貨品等の最寄品についても同様な結果が表れている。その要因として、「商品の品揃え」、「商品センス」、「アフターサービス」、「催し物の回数、内容」、「入りやすさ」、「行きやすさ」等が挙げられ、よって中心市街地の商店街の満足度は非常に低いという結果になった。



米子市の商業地

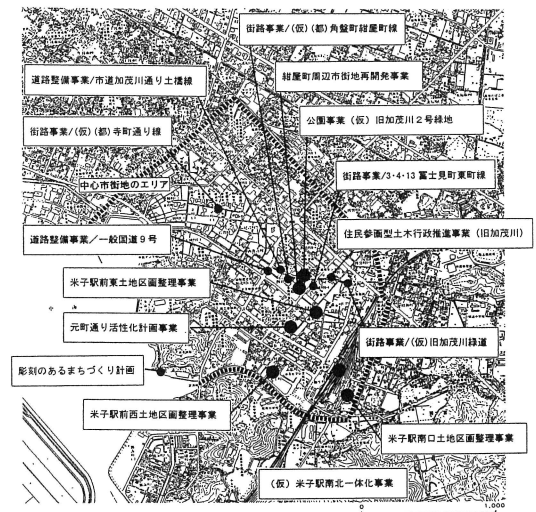
この様な複雑な問題を抱えながら、中心市街地にとって、本来の賑わいを呼び戻すためのまちづくり活動の必要性が叫ばれてきた。その中には、後に商店街探検隊として関わっていく事になる旧加茂川周



No.	商店街名	買回品	最寄品	飲食店	サービス	計	空き店舗
1	米子駅前商店街振興組合	11	7	10	22	50	3
2	元町通り商店街振興組合	52	6	1	0	59	17
3	法勝寺町商店街振興組合	18	0	0	0	18	16
4	紺屋町商店街振興組合	22	2	0	4	28	16
5	四日市町商店街振興組合	45	2	0	0	47	8
6	東倉吉町商店街振興組合	3	3	3	3	12	5
7	角盤町商店街振興組合	9	2	12	21	44	4
8	角中商店街振興組合	23	0	26	0	49	1
9	協同組合米子市角盤町通り商店会	2	59	22	12	95	14
10	東倉吉町上部商店会	7	0	3	4	14	1
11	西倉吉町商店会	7	5	5	5	22	11
12	朝日通り商店会	3	2	363	70	438	80
13	岩倉町商店会	4	5	0	1	10	10
	合計	206	93	445	142	886	186
	構成比	23.3%	10.5%	50.2%	16.0%	100.0%	-

資料：商店街意向調査

中心市街地の商店街



事業整備イメージ

辺の景観整備や、商店街組織強化の為のリーダー育成等がある。

2.3 商店街探検隊結成の経緯

商店街探検隊は、平成11年5月、鳥取県建築士会女性委員会西部支部の呼びかけにより、小学生とその保護者を対象に募集した。

当初の目的は、平成12年10月に行われた建築士会全国大会（鳥取大会）のフォーラムでその成果を発表するという事があった。テーマに選んだ理由としては、中心市街地活性化問題は全国共通の問題であり、米子市商店街も例外ではない事、そしてその衰退に歯止めをかける事が出来るのは、次世代を担う子供達であり、彼らとの架け橋となり得るのは私達ではないかという自負からであった。

しかしそうとは言っても、一地方都市の商店街を題材にする事が、全国に発信出来るメッセージになり得るのかと言う自問はスタッフ内にはあった。けれども、探検隊発足当時から共通認識（キーワード）である「誰にとっても住みやすいまち、住み続けたいまちとは、どの様なまちなのか」、「自分のまちの身近な環境こそ自分達で考え、自分達の思うように作りたい」、「そこで暮らすものとして、何か出来ないものか」と思った事があるはずだと言う思いと、まちづくりの専門家がいるわけではない、商店街に頼まれたわけでもない、只、私達に出来る事は、私達の行きたい商店街あるいは子供達と一緒に

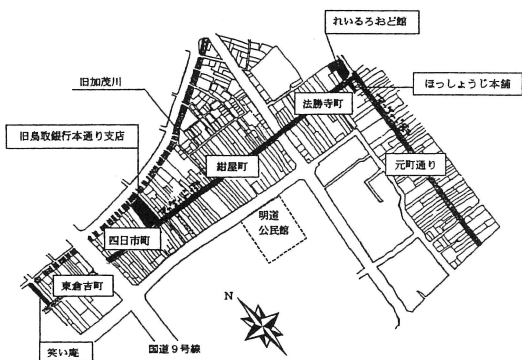
行きたい商店街を子供達の視点で探りたいと思いは変わらなかった事にあった。そして魅力ある米子市商店街らしさを求めるなら、「商店街に沿って背面を流れる旧加茂川との回遊性や親水性を持たせる事も必要になってくるに違いない」という思いが、計7回のワークショップを行わせる原動力となった。

3. 商店街探検隊の活動報告

第43回建築士会全国大会（鳥取大会）が平成12年10月26（木）27（金）両日、米子コンベンションセンターを主会場に米子市周辺で開催された。その中の鳥取の風フォーラムⅢ「ふれあいの風～集まれ、まちのつわものども一まちづくりの心を育てよう」で、足掛け二年余りに及ぶ商店街探検隊の活動成果を踏まえて、全国の建築士の方々と一緒に、空き店舗の一つでもある地方銀行の跡地利用についてデザインワークショップを行った。

本稿では、大会の詳細について述べる事は控えるが、全然知らない土地の空き店舗利用について、職業意識全開でエスキスをはじめ、ボリューム模型完成までと、短時間だったにも関わらず、協力して頂いた参加者の方々に厚く感謝する。

以下、第43回建築士会全国大会（鳥取大会）鳥取の風フォーラム冊子より、商店街探検隊の歩みと活動の一部を紹介する。



米子商店街Map



第2回 商店街探検隊

探検隊オリエンテーリング

平成11年8月22日
参加者数 48名

「古き良き時代より米子の町を見守ってきた旧加茂川を中心に、周辺環境に目を向けてみよう」というテーマで、小学校4年生から6年生の児童とその保護者を対象に、まちウォッチングPart2を行いました。今回は、オリエンテーリングでクイズを解きながら、旧加茂川沿いの散策や米子商店街を探検したり、お気に入りの店でインタビューをしたりと盛り出した内容です。
看板の人気投票や買い物Part2(1000円)では、100円ショップに集中するという予想外の結果が得られました。また私達が選んだ印象深い通りのネーミングは、これもび通り、満上がり通り等、ユニークなものも数多く出されました。
昔からの米子商店街を知る人、初めて訪れた人、世代を超えさまざまな人達に、探検を演じていただきました。

高店街探検隊の歩み

7000円 高店街探検隊誕生

人が一人生まれる時、いろいろな苦労や思いはあるはずだ。しかし商店街探検隊が誕生する時はいとも簡単に、そしてそれはまるで魂の卵からひなが誕生するように、突然やってきた。
98年のある暑い日、建築士会全国大会のテーマは、「全国的にもホットな話題を提供している中心市街地活性化問題」らしいよね。米子商店街と旧加茂川とのつながりを通して、子供達が住みたいと思えるまちをつくるについて考えてみたいよ、という 途な思い込みと、「するならワークショップが面白いよ。」という更なる思い込みをもって編成 隊でGOサインは出された。

エピソード 只今、高店街探検隊奮闘中

週一程度のGOサインは出されたものの、はたどり果て、近隣の住長参加型まちづくりの取り組みを勉強して回りワークショップ運営から始めた。
しかし99年7月、無謀にも私達後身の専任ワークショップを企画しようという事になった。まさにこれが商店街探検隊のデビューである。この企画は、まちづくりの基本は、まちを知る事として実際にまちを歩いてみる事という思いで、小学4年生以下の親子ペアに500円玉を握り廻り買いに出かけてもらって、まちを再発見しようという内容のもだった。これにより、私達だけでなく何と出来るという自身が、次々と新しい企画を生む結果となった。

そして勝手に気がよくした私達は、99年8月(バウワグ)と買い物Part2(12)、10月(バーマップ)、11月(足指+カッパ)1ヵ月(金魚)、2000年3月(バウワグ+1)、5月(バウワグ+1)そして7月の決め手、食堂 米子商店街)と企画内容と参加者を毎回戻すためのワークショップを次々と企画運営した。
何も表立った後ろ盾がない私達に出来る事は、ひたすら労を惜みず、自分達の体を余すことなく動かす事だった。そして気がついてみると探検隊員は、200名を超えていた。やはり取り回されて、知らないうちに「商店街探検隊」という言葉が一人歩きを始めて、47ヶ所から市民権を得たのだ。また私達の活動と時を同じくして、いろいろなおと娘(後援者や設置)、ほっしりうじ木(後援者)とそして「地産地消と高齢者の休遊園」が作られた。何れも空き店賃を利用して、眠っているまちの財産を掘り起こそうというもだった。

エピソード これから

「子供達が住み続けたいまち、住んでみたいまちであってほしい。」「旧加茂川との回遊性をもたせながら、米子商店街の活性化が出来たらいいな。」という思いから始めた高店街探検隊だった。米子商店街が好きだから、米子のまちが好きだから、何となく頑張っほしいと思う、でも私達は、この商店街に住んでいるわけではなく、ここで生計を立てているわけでもない、「わかぬ商人」の域を超える事出来ない私達に出来る事は一体何だろう。 まずは、7777を起す事等、仲間を増やす事。そして米子のまちを好きでいられる事かな?
まずは私達は、高店街探検隊のマジを米子商店街の中に作り、活動拠点をしたいなと密かに思っている。さあみんな集まれ!米子のまちを好きにならな。

高店街探検隊記録

- 第1回高店街探検隊 高店街探検隊デビュー 平成11年7月18日
第2回高店街探検隊 オリエンテーリング&買い物Part2 平成11年8月22日
第3回高店街探検隊 ガリバーMAP 平成11年10月31日
第4回高店街探検隊 イベントデビュー 平成12年3月12日
第5回高店街探検隊 タクモビルデー 平成12年5月14日
第6回高店街探検隊 味の決め手、食堂 米子商店街 平成12年7月9日
番外編高店街探検隊 出前ワークショップ企画 平成11年11月28日

第1回商店街探検隊

「商店街探検隊」デビュー!!

平成11年7月18日
参加者数 37名

「子供達と一緒に歩きたい商店街作り」をテーマに、小学校1年生から4年生の児童とその保護者を対象に「商店街探検隊」と称して、まち探検を行いました。最初に「さわ助の冒険」として旧加茂川をテーマにした環境紙芝居を見て、そしてまちウォッチングに出かけました。米子商店街や旧加茂川周辺を散策し、それぞれ質問に答えながら、気に入った風景をカメラにおさめました。その後、各自500円を持って実際に買い物を楽しんでもらいました。
最後に、公民館に戻って、質問の答えや撮った写真を使っておと娘、グループごとにどんな物が買えたかなどを発表を行いました。

Q1. この川(加茂川)を知っていますか?
はい11人/いいえ7人/18人
Q2. この川で遊んだことがありますか?
はい2人/いいえ16人/18人
Q3. どうしたら楽しく遊べると思いますか?
・川をきれいにする
・生き物がいる川にする
・コンクリートで固めない
・川へ降りやすくなる
Q4. 気に入った店はどれですか?
・ゆうや堂焼 水でできていて古い雰囲気がある
・青い傘の橋 古い看板に風情がある
・白い傘の橋 黄色い色がきれい
Q5. どんな風景を残したいと思いましたか?
カモのいる加茂川の風景
・きれいな川
・古い建物、街並み
・柳、ツツジ
Q6. 商店街の印象はどうでしたか?
いい所
・お店の人とのふれあい
・若い人がわりといる
・季節の飾りがきれい
悪い所
・暗い、元気がない
・閉まっているお店が多い
・ゴミ箱がない
こんなお店があったのか、今度ゆっくり来てみたい、500円でこんな物に買えるのか、などの声も聞かれ、高店街を再認識してもらえたようでした。



第3回商店街探検隊

ガリバーMAP

平成11年10月31日
参加者数 49人

「アルキメデスの旅」と題して、元町通り、法勝寺町、四日市町、西倉吉町の5つの商店街を対象に、『ガリバーMAP』を完成させました。
探検隊は、4つのポイントで地元元案内の方の話を聞き、各商店街について、感想やイメージカラー、自分の好きな場所をポストイットに書いてもらいました。その他に、気に入ったお店、看板、加茂川にかかる橋の写真を描くこと、各自お店を訪問して店員さんにインタビューなどし、包装紙、広告紙を集めてもらうことでした。
高店街の探検が終了すると、全員でMAP作りを行いました。4m×7mの地図上に乗り各自気に入ったお店の上にシールを貼り、写真・包装紙を紙に貼り付け、自由にコメント、イラストを書き込んで『ガリバーMAP』の完成です。
最後に商店街はどんな所だったのか?どんな発見をしたのか?MAPを囲みながら、グループごとに発表しました。

商店街発見したところ
元町サンロード
①・若者、高齢者が多い
②・閉まっているお店が多い
③・オレンジ
法勝寺町商店街
①・明るい感じ
②・人が少ない
③・ベージュ
四日市町商店街
①・賑やか
②・青
③・緑
紺屋町商店街
①・人通りが多い
②・自転車が多く危ない
③・黄金
東倉吉町商店街
①・シャッターの絵が綺麗
②・タバコの吸殻が多い
③・無色透明
質問:①どんな所 ②色にたとえると
・広場に木や遊具がある。
・明るくしてほしい。
・虹色
・只限屋が多い
・人が少ない
・赤
・若い人が多い・自転車が多い
・白
・かっこいい店がいっぱい
・薄紫
・暗いグレー
上記のようにいろいろな発見があったようです。その他にも地元元案内の方の話で、商店街の歴史に触れ、今も生活化のために一生懸命がんばっておられることを知ることができました。



第5回商店街探検隊

みんなにやさしい商店街

平成12年 5月14日

参加者数 88名

今回は、「本当の意味で全ての人にやさしい商店街」について考えてみよう、幅広い年齢層の、様々な立場の方々に集まっていただき、「みんなにやさしい商店街」を探し出してみました。今までとちがう視点から考えてもらおうと、車椅子や電動スクーターに乗ってもらったり、高齢者体験グッズを付けてもらって商店街を再確認、再発見してもらいました。まず、商店街診断と称し、色々な立場のお客様から見たお店の状態を調査しよう、全体を8グループに分け、車椅子に乗った人、高齢者体験グッズを付けた人、小さな子供連れの人、それぞれがお店に入り、お店の人にインタビューしたり、アンケートに答えたりしてもらいました。今回は、今までより一歩踏み込み、普段では出来ない体験をし、みなさんに何かを感じ取っていただけたのではないのでしょうか。

◆商店街店診断結果◆

<p>第1グループ (履物店)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店内が狭い ・通路が狭く、車椅子では通れない ・商品の棚が店のトレードマーク 	<p>第2グループ (自転車店)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最近のマーケットを意識した商品を中心に置いている ・遠くでも修理に行くのが自慢
<p>第3グループ (呉服店)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入り口に段差があり、車椅子で入るのが苦労した ・商品はみやすかったが、照明等でアクセントを付けたらどうか 	<p>第4グループ (ミン生店)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入り口に段差がなく、巾も広い ・店内の照明が明るく、他より目立っていた
<p>第5グループ (家具店)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品数が豊富 ・アーケード側のガラス窓に広告が貼ってあり、店の雰囲気にあっていなかった 	<p>第6グループ (陶器・漆器店)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品質、品揃えは大型店には負けないと自信をもっておられるだけあって品数豊富 ・店の奥さんが丁寧でやさしい
<p>第7グループ (OA機器販売店)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通りとの連続性が薄く、店に入りにくそう ・入り口が両開き戸なので車椅子では入れない ・商品が整理されていて見易い 	<p>第8グループ (洋服店)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品がてんこもりであふれていて分りにくい ・学生服が米子が一番安く、裾上げ、袖詰めを無料でやっているのが自慢

以上、様々な厳しい指摘もありましたが、お店の人に店の自慢などを聞き商店街に魅了を再発見することができました。また、実際に車椅子にのったり、高齢者体験グッズを付けてみると普段は気にならない入り口の段差、巾が意外とあることに驚きました。

第4回商店街探検隊

イベントプロデューサー募集！！

平成12年3月12日

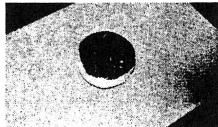
参加人数 30名

「米子商店街のイベントやお土産を提案しよう、これで、あなたもイベントプロデューサー」というテーマで、高校生と専門学校生を対象に、新しい米子商店街の顔となるような企画を考えました。地元商店街で活躍中の若い二人の方をお招きして話を伺いました。その中で知恵とみんなの力を合わせる事が大切だから、是非若い皆さんのユニークな発想を期待していますとエールを送りました。そして一等グランプリの企画は実現するかもしれないと言われ、益々企画意欲を燃やたてられました。まずはプロデューサーになったつもりで、商店街を歩きながらのイベント企画を探します。そしてふさわしい場所が見つければ、それをもとに広告代理店のプレゼンナーからの企画書を作ります。さあ、ドキドキのプレゼンそして投票結果の発表です。「元町パティオで特選大会、小鍋がくるかもよ」、「元路駅大出陣」、「元路駅G角選手、ほくら破頭」等。さあこのプロデューサーチームが一番最優秀グランプリの栄冠を獲得したのでしょうか。

- ☆最優秀グランプリ☆
イベント部門「わんわんがた」
商店街すべてを使い
キング（勝者）を決める。
他「わんわんがた」
「春の小鍋で焼」
- ☆お土産部門☆
「ほくら破頭」「カニ焼き」
「汽車の模型」他
- ☆自分達で商店街に開店するなら？
パン屋・ボーリング場、
ファストフード・レンタルSHOP
フリーマーケット 他
- ☆この近くで遊ぶ場所は？
カラオケ（最多）
- ☆週末友人と集う場所は？
友人の部屋（最多）



小鍋プロダクション



元路駅G角選手 ほくら破頭



企画書プレゼン中

◆みんなにやさしい商店街◆

- Q. 高齢者体験グッズをつけてみて・・・
 - ・動きにくく、小さな段差でも足が上らず、不便さを感じた
 - ・細かいものがほとんど見えにくい
 - ・途中で休憩所がないと疲れる
 - ・目の前を、速いスピードで通り過ぎる自転車に恐怖を感じた
- Q. 車椅子の人は商店街に入りやすい？
 - ・入れるお店が少ない。（出入口に段差があるお店が多い。）
 - ・家から商店街までのアクセスが問題
 - ・店頭の商品があふれていて近づきにくい
- Q. どんなサービスがあったらいい？
 - ・無料駐車場
 - ・商店街の案内所（案内してくれる人）
 - ・自転車、車椅子の貸し出し
 - ・割引セールをする
 - ・ポイントカードを作る
- Q. 車でくるとこが出来ない人のために・・・
 - ・専用の送迎バスを設ける
 - ・自転車のために駐輪所を設ける
 - ・駅から商店街まで自転車の貸し出しをする
- Q. 商店街のいいところは？
 - ・雨の日でも安心
 - ・専門店があってお店の人にアドバイスしてもらって、買物することができる
 - ・色々なお店がある
 - ・狭い（落ち着く）
 - ・一つ一つのお店が個性を持っている
 - ・土曜市など風情を残している
- Q. 車椅子を利用しての方に聞いてみたところ・・・
 - ・商店街と大型店を比較すると、やっぱり大型店の方が利用しやすい。大型店は1人でも行け、トイレも整備してあるし、広いので店内を自由に回れるから。また、品揃えも豊富である。一方、商店街の専門店ならではの商品、品揃えには魅力を感じる



店舗診断中・・・お店の人にインタビュー！



それぞれが商店街を再確認！



結果発表！理想の商店街が見つかったかな？

第6回商店街探検隊

食堂 米子商店街

味の決め手はナニ？

平成12年 7月 9日

参加者数 47名

「米子商店街を食堂にたとえて、今の商店街に足りないもの、つまり味の決め手を考えてもらおう」というテーマで、商店街、商工会議所から「塾生」として4名の方々をお迎えして特別企画『食堂 米子商店街』を行いました。

今回は新メニューの試上げゲームで気分をリラックスさせてから、いよいよ塾長さんの登場です。米子商店街の歴史を見据えてこれからの商店街のあり方を考えておられる方。然し思いは必ず実を結ぶと信じて有志と一緒に意見を交わしている方々。各塾長さんの個性ある取り組みや米子商店街に対する思い等を聞いた後、米子商店街に足りない味を探し始めました。

そしてさらに現在空き店舗となっている旧鳥取銀行の跡地利用についてのご意見も大切にしながら、オープンカフェやビアホールにしたらどうかという意見が出ました。

また塾長さんから塾長さんへのお願いというカードでは、夏に美味しい味や少し機械サビの味のするかき氷（笑）、そんな懐かしい味のするものを出してほしいという意見が出ました。

少しだけそれぞれの商店街の皆さんの思いを結び繋いだのかなと思います。

渡辺塾 (まっただ屋呉服店)
お話 高店街の歴史、現状についてなど

足りない味付けは？
人が集まるレストラン・喫茶店
イベント 駐車場 寂しい店など
鳥取跡地利用法は？
カフェ・イベント店
うるおいの場など

住田塾 (ベネッセ探検隊)
お話 前川中島・栞里についてなど

みんなの何がほしいな！
休憩所・託児所
どうすればいいかな？
旧加茂川をきれいにする
カフェ・案内・アーケードの整備など
鳥取跡地利用法は？
文化的施設 広場など

石賀塾 (石賀陶器仏具店)
お話 ほんとうに日本橋についてなど

商店街に人を集めるには？
何と書いても 魅力作り！
飲食店 レトロな雑貨屋
街物をまとめてくれる
ところなど
鳥取跡地の利用方法は？
堂のとがよないこいの場など

福田塾 (米子商工会議所)
お話 れいもろお館についてなど

人を集めるには？
環境の整備
駐車場の無料化
寂しい店など
鳥取跡地の利用
飲食店 ミニ美術館など



裏上げゲーム



ワークショップ



塾長さんの発表

4. まとめにかえて

商店街探検隊の活動を通して感じた事は、米子商店街もまんざら捨てたものではないという事だった。確かに、空き店舗も年々増え、アーケードの老朽化により、汚らしいイメージは拭いきれない。しかし商店街ヒヤリング調査や活動を通して、元気のよい店主や店の独自性を求めて頑張っている店主もたくさんおられるということがわかった。そして最後には、商店街の方々が、度重なる探検隊の訪問を、心なしか楽しみにしてくださっていた様にも思えた。

子供達の反応は、参加したことに対しては、これからも活動を続けたいとか、友達を誘って参加したいという意見等、概ね好意的な感想を寄せてくれた。当初の募集は、小学生という事にしてしたが、回を重ねる毎に、中学生、高校生、短大生、一般の方々と広げていった事が、探検隊同志の交流を含めて、活動に広がりを持たせる結果となった。「まちづくりは人づくり」と言われる程、次世代に繋ぐ事の難しさが強調されている。しかし、幼少の頃より慣れ親しんだまちは、大人になっても、やはり帰って来たい、住み続けたいと思えるまちであるとはずだ。

そしてこの活動をさらに有意義な活動とする為に、以下いくつかの今後に向けての課題点を挙げる。

- 1) 商店街内に探検隊の拠点を設ける。
- 2) 商店街活性化事業の計画段階から参画する。
イベント等の企画運営に参画する等
- 3) 周辺地域や他のグループとの連携を図る。
地域の小学校との連携を図り、授業等にも取入れてもらう等
- 4) 探検隊の企画運営スタッフに子供達を参画させる。
- 5) 活動範囲を商店街以外の範囲にも広げる。
商店街探検隊としての活動は、これからが大切な時期に来ている。今後はさらに商店街の中に入り込み、地域に根づいた活動にしなければならないと考えている。

それから、二年余りに及ぶ探検隊の活動を支えてくださった多くの参加者の方々、また協力してくださった商店街の方々に、厚く感謝をします。

引用文献

- 本稿に引用した地図、表、その他の資料は、全て「米子市中心市街地活性化基本計画」資料編（平成11年3月 米子市発行）から抜粋したものである。
- 1) 「米子市中心市街地活性化基本計画」概要版（平成11年3月 米子市発行）
 - 2) 「米子市中心市街地活性化基本計画」資料編（平成11年3月 米子市発行）
 - 3) 第43回建築士会全国大会（鳥取大会）フォーラム冊子
 - 4) 第43回建築士会全国大会（鳥取大会）大会概要及び活動報告